

直接注入とカラムスイッチング HPLC による 組織ホモジネート中の薬物分析

今井日出夫, 玉井 元

J.Pharmacobio-Dyn., 12, s-19 (1989) Proceedings of the 8th Symposium on Analy Chemistry of Biological Substances, September 22, 23, 1988, Nagoya

Analysis of Drug in Tissue Homogenate by HPLC with Direct Injection and Column Switching

Hideo IMAI and Gen TAMAI

抄録 生体組織ホモジネートは蛋白の他、組織細片を含むので、除蛋白と妨害物質の除去を行い、組織細片中や蛋白との結合分を含めて、100%回収できるカラムスイッチング HPLC を検討した。水溶性薬物として5-フルオロウラシル、N-アセチルプロカインアミド、脂溶性薬物として、メトトレキサート及びプロプラノロールを例として、ブチルトヨパールや蛋白コート ODS をプレカラム充填剤に用いて、回収率 100%，CV 値 3.5% 以下で分析できる新しい方法を提案した。